

現住所・幹事等の 変更連絡について

現住所・幹事等に変更が
あつた場合は札幌月寒高校
同窓会事務局宛ご連絡くだ
さ

題字：中川清風先生



コロナの先へ

同志会会长 関

発好博
12期生・昭和48年

運行責任者 〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条3丁目
北海道札幌月寒高等学校内 北海道札幌月寒高等学校同窓会
TEL (011) 851-3111・FAX (011) 851-3112 <http://www.tsukkisappu.com>

よもやと思っていたコロナ禍が、年日とともに、同窓会の活動にもいろいろいろいろ高い壁が立ちはだかっていました。そのメインである総会や大懇親会を開催することにもいろいろな意見がありました。

昨年8月初め大懇親会の案内をする時期を迎える、その段階でも9月24日に開催することの是非に侃々諤々の状況。曰くこの状況で本当に大懇親会を開催するのかと。決断を迫られたものでした。

中止するのは簡単ですが約1ヶ月後のことなので、ぎりぎりまで開催の方向で準備することにしました。そして、当日はコロナ感染予防をしっかりとしながら開催し、200人を超える参加者で、無事終えることができました。

世界中を巻き込んでいる新型コロナですが、正しく理解して防御するということは変わらない。その中で少しずつコロナ下での対応の仕方に変化が出てきています。それぞれに知恵を絞り、コロナゆえの新しい取り組みにチャレンジする例も少なくないと思います。

さて、繰り返された言葉ですが同窓生は、同じ学校で過ごした者同士が、時間を超えてつながりあうことができるシステム。何かの機会に同窓であるということがわかった途端に、年齢や立場に関係なく、一瞬でお互いの距離が近くなり共通の映像を見てきたような関係になるもの校舎や制服の様子は変わってしまふたということもそれはそれで話の種となりますが、誰もが多感で夢を描いています。

第39号



スポーツの力、 文化の力

校長 山本明敏

はや4か月経ちます。

第43回同窓会実行委員長

仁南



令和4年9月24日　同窓会開催にあたりましては、開発企画部長をはじめ役員の皆様に多大にご協力いただき、誠に有難うございました。行動制限の解除も不透明下での開催判断、誠に有難うございました。

また、来たくても来れない環境の方もいらっしゃつてしまふたそのうち、くらいいな楽観で参りましょう。

私たちもお忙しまして、オフィシャルな同窓会は茨城より参加させていただいたミセスもえみの寄稿もござります。もともとえみ機、有難うございました！

最後に、世界の平和はもちろんですが、月寒高校にご縁のある方々におかれましてはとくに、今後益々のご健勝を切に、ご祈念申し上げます。ありがとうございました。



たたと思います。またそのうち、くらいいな楽観で参りましょう。

私たちは今回をもちまして、オフィシャルな同盟

29期生・昭和56年卒
会とはお別れとなります、まだまだどうしてどうして！
内規鏡も進化しておりますが、健康に留意して、何かしらお役に立てることができればと思つております。
は、また、今号で茨城より参加していただいたミセスもえみの寄稿もござります。もえみ様、有難うございました！
最後に、世界の平和はもちろんですが、月寒高校にご縁のある方々におかれましてはとくに、今後益々のご健勝を切にご祈念申し上げます。ありがとうございました。



「月高還暦グルーブライ」で、
ひっくり嬉しい友情復活

鈴木もえみ

(旧姓：古内

自分が60歳である、という実感を全く持っていない。かくは私は「月寒高校めざせ還暦祝い」というグループで、なんの事? と状況が香み込めず、ちよつとビックリしてしまいました。しかし、このラインから、急に懐かしい友のみんなに逢いたい気持ちが湧きあがり、「1981年卒第29期生還暦同期会」として開催されるべく飛行機に乗りました。30年以上北海道を離れてお仕事をしていて、久しぶりに同窓会でお互いがわかつらるのか、不安な気持ちがあります。なぜか、高校時代のニックネームで声をかけられ、一気に緊張感がほぐれ、とても嬉しかったのです。29期生は10クラスありましたので、当時はお話を聞きましたが、たまたま事のない方もいたのです。幹事さん達が会場でお席をシャッフルしたり、幹事さん達が様々な方と交流でき、楽しいひと時となりました。対面で会う事・話す事は、とても大切な事ですね。高校時代に「やんちゃ系」だった人ほど、今、社会貢献され活躍している事でした。笑。「高校時代あんな事をしていたのに、今、教育関係や企業のトップなんて信じられない(笑)」「そ



ニューノーマル・新時代を迎えても

齋藤琢也
40期生・平成4年卒

私たちの世代は昭和に生まれ、大人達のバブル景気の華やかな様相を眺めながら、平成に学生生活から社会人となり、高校を卒業し30年以上経過しております。この期間で、外部環境変化の著しさと時間の経過の速さを実感しつつ令和を迎える日々の生活を過ごしております。

私が初めて幹事会に参加したのは、平成23年で今回が2回目となります。ここでもまた10年という時の早さに気付かされる事になりました。前回の幹事会では、P C & I T は広まっていましたが、スマフォはまだ出始めでガラケー全盛期でした。幹事会における大仕事である参加者集めも当時は電話・メールによる人海戦術で行っていました。近年ではS N Sでの拡散やS N S内グループへの連絡で懇親会の情報拡散と收集は完結し作業は軽微なものに変わりました。

令和4年大懇親会は、コロナ禍での開催で実施に際し、幹事会内でも意見が相反する事もあり、参加者もリスクがある中で参加して

頂きました。当日は、卒業以来の同期との再会も多くみられ、ご子息が月寒高校に在学中等の喜ばしい話も多くあり同期の繋がりを広めることができました。幹事会に対して労いの言葉も頂き無事実施できたことを感謝致します。

年を重ね時代が変化しても、私の周りの同期や友人との関係は変わることがありません。日常で連絡をとり、たとえ、物理的距離が離れていてもw e b会議アプリを用いれば顔を見ながら会話をでき、同じ時を過ごす事が出来ています。今でも変わらずに書び・笑い・泣き・私的には恵まれた環境と実感します。

進歩するI T技術を利用しながらも、リアルに対面しコミュニケーションができる事での関係性の深まりと書びは非常に大きく、大懇親会のような機会の重要性は今回でさらに高いものと再認識しました。

今般では、コミュニケーションの機会の減少が社会的課題になってきております。コロナ禍となりビジネ

ス・社会生活においても極力対面や接触を減らすような運びとなり、対面し情報伝達する機会が減少しその結果、繋がりが希薄な社会に向かって行くことを懸念しております。しかし、新たな環境下でも月寒高校で培う「親和協力」の伝統は、新時代を迎えてもお互いを思いやり高いコミュニケーション能力を發揮し社会に貢献し新たな時代を作る人財となると思っています。

未筆になりますが、月寒高校及び同窓会のさらなる発展を願っております。



40期生 集合写真





「人生の宝物、それが同窓会」

駒ヶ嶺 智史
50期生・平成14年卒

この度は、コロナ禍にも関わらず、3年越しの第43回月寒高校同窓会大懇親会を開催していただき、当会役員及び当番期の皆さん、そして本校及び同窓会会員の皆さんに、感謝申し上げます。

さて、少し私事でのお話をとりますが、この度、当会大懇親会の50期当番幹事として、同期への参加呼びかけなど、同窓会活動をさせていただきました。学生時代を知る同期からは、「當時ヤンチャをしていた私の面影から、「幹事なんて無縁の存在だったね(笑)」、「まさか! 中心となつて声掛けしてくれるがなんて!」など、驚きの声が上がりました。今では当会の役員となつて、事業部長としても、活動しています。

私が月寒高校同窓会に関わったのは、今から8年前になります。ふと、ネット上に、高校時代を懐かしく思い、月寒高校のホームページを閲覧したことがきっかけでした。

当時、「高校時代は、多

くの先生や仲間たちに、たくさんお世話になつたな。」と感謝の思いが込み上りてきて、思ひ立つたら、即行動!! 本校に入電し、気が付いたら当会の役員に参加していました(笑)。

そして、8年越しとなりましたが、ようやく自分たちの当番期が来ました。そこで、8年越しに恩返しの活動させていただいたところです。同窓生(同期)は、たまたまその時代に、その学びのを学んだだけでも、同じく、出会えば当時の心境に戻れる「タイ

ムカプセル」のようなものであり、この切れない絆は、掛け替えのない「人生の宝物」といえます。

また、世代を超えて、何かつながらも、気持ちにな

れる。そんな、不思議な縁を感じられるのも、同窓生です。このような素晴らしい「縁」と、さしつけを作ってくれる月寒高校同窓会に感謝し、今後とも尽力させていただきます。

末事となりますが、関わる全ての方に感謝することも、母校が今後ともますます発展し、同窓会員の皆さんがご多幸となりますよう祈念いたします。



50期生 集合写真





未来の私へ

関川春奈

タイムカプセルを埋めよう——誰が言い出したのかは、覚えていない。2007年まだ根雪にならない頃、私のクラス3年8組は、タイムカプセルを、埋めることになった。埋める場所は高校のテニスコート裏で、掘り出すタイミングは12年後。皆、手紙などを「一斗缶に入れ込んだ。

高校卒業後クラスメートに会えば、タイムカプセルの話が持ち上がった。いつ開けるんだっけと聞かれ、



私は「30歳のときだよ」と答えた。大学卒業・就職・転職を経て、12年は瞬く間に過ぎた。約束の2019年になつたが、感染症の拡大により大勢で集まれない状況が続いた。そのような中、私は近所のスープで、当時の担任の先生に偶然会った。「もうそろそろタイムカプセルを掘り出す頃じゃないか?」先生もちゃんと覚えていた。そして

2021年の末にクラスメートと再会した際「来年、タイムカプセルを掘り起こすから」と、私は宣言したのだった。

2022年4月、連絡さえしてしまえば、事が進むのは早かつた。しかし最初、高校に電話したときは、さすがに緊張した。10年以上も前のタイムカプセルのことなんて、知っている先生や職員の人は誰一人としていないだろう。見ず知らずの卒業生の話を聞いて、掘り出す日程の調整

まり、母校を思う気持ち、
懐かしい朋にあい、励ます
ことが大切です」
タイムカプセルを纏の記

こしたのは7月10日。集
まつたのは、私も入れて4
人だった。卒業以来初めて
会う友人や、子どもも同伴の
友人もいたが、再会した瞬
間から昔と変わらない雰囲

「私はこの辺りを掘るね」
「じゃあ私はここ」と協力し合い、30分以上もくもくと掘った。白い物体がちらっと見えたところを掘り進めると、へこんでさびがついた。タイムカプセルがあらわになつたのだった。
久しぶりにもかかわらず皆の息が合つたのは、きっと何百時間ものときを、同じ空間で過ごしたからなのだとと思う。春夏秋冬、授業や講習に加え、月高祭、球技大会などのイベントもあった。内側にアールのある変わった形の校舎に、冬になるとカンカンと鳴り始めるストップ。五感を使って同じ体験をした仲間は、不変である。未来の私が受け取つたのは、時が過ぎたからこそ分かる、時間の織りなすメッセージだったのだ。

大懇親会の様子



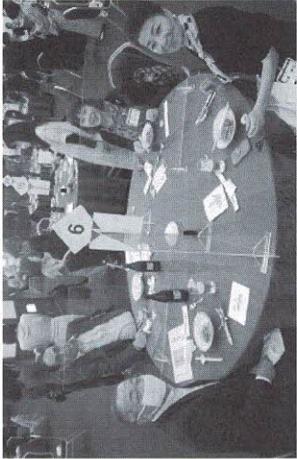
關公搥擣



校長室



全集卷之三



(5) 第39号

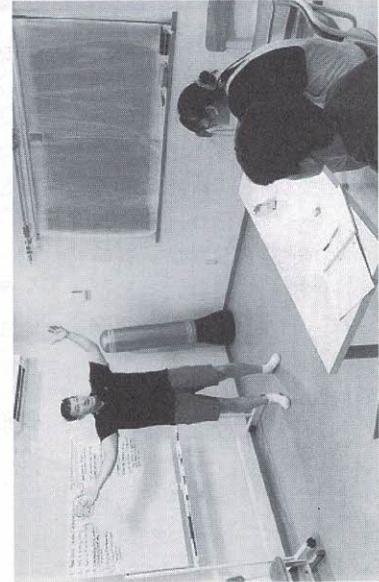
ひまわり基金体験記

鈴木 きらら

私は2泊3日で沖縄に英語留学に行きました。3時間という短い間ではありますましたが、しっかりと英語コミュニケーション能力をつけるされました。私は中学校から英語が得意でした。しかしフィリピンの人と韓国の友達と3人で会話する機会があつたとき、私は何も話せませんでした。韓国の友達はすらすらと英語が話せていてうらやましかったです。その後、その韓国の友達に英語の勉強法を聞いて、自分は実際にしゃべる練習が足りないことがわかりました。そんな時にひまわり基金の募集がありました。今まで応募した人を見たことがないという先生の話を聞いてチャンスだなと思いました。自分は成績もよくないのでこのような場でしかチャンスをつかめなかつたので、これでリアルな英語に触れに行きたいと思いました。結果、応募が私だけだったので、英語留学に行くことができました。そして私は真夏の沖縄度、湿度も高く大変でした。そしてホストファミ

リとの初対面、退役軍人の方と聞いて体がこわばっていましたが、優しそうなオオトラが出ていて、すこし安心しました。そのあとはホストファミリーと話す時間でした。大学で心理学を勉強していた方で心理学の視点で見た英語教育の話を最初の方こそ聞き返すことが多かったものの、数分後にはついていくようになりました。この時点では留学が始まって3時間くらい。英語が上手になつたとその短い時間でも感じました。

特に英語が上達したと感じたのは、最終日です。その日は日本語が全くしゃべられないホストファミリーと2人で行動しました。私はその日の最初からかなり円滑にコミュニケーションが取れるようになつていて自信が付くようになりました。その日は米軍基地に行ったのですが、ホストファミザーが私に英語を話す機会を作ってくれて、たくさん英語を話せました。何も怖くなかった。



【月寒丘ひまわり基金】とは…

本基金は、母校創立70周年記念事業として創設されました。大きなチャレンジをしようとする在校生を支援しようという基金です。我々大人の心を揺さぶるような熱い力と行動力、そのチャレンジの経験を将来に生かして社会に貢献する強い意志を持つ、月高生の挑戦を応援します。そのチャレンジの内容は…
たとえば、思い切って日本を飛び出す！海外留学でもいい、日本一周でもいい。ボランティア参加でもいい。実験や調査などの研究でもいい。自分の成果をみんなに報告したいという気持ちを応援します。「どうどう進め月高健児！」この学び舎で青春の一時期を過ごした同窓生が、今も「月寒丘ひまわり基金」を通して応援しています。



北海道札幌月寒高等学校同窓会会則

第1章 総 則

第1条 本会は北海道札幌月寒高等学校同窓会と称し、事務局を本校におく。

第2条 本会は次の会員をもって構成する。

1. 正会員 本校卒業生及び本校に在学したもので役員会において承認されたものとする。
2. 名誉会員 本校の現職員及び旧職員とする。

3. 本会は会員相互の親睦を図り教養を高め、あわせて母校の発展に寄与することを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達成するため次の事項を行う。

1. 会員相互の連絡
2. レクリエーション
3. 会誌及び会員名簿の発行
4. 母校の後援
5. その他の目的を達成するために必要と認められる活動

第2章 役 員

第5条 本会に次の役員をおく。

- | | | | |
|----------|-----|---------|-----|
| 1. 顧 問 | 若干名 | 6. 副幹事長 | 若干名 |
| 2. 名譽会長 | 1 名 | 7. 会 計 | 2 名 |
| 3. 会 長 | 1 名 | 8. 会計監査 | 2 名 |
| 4. 副 会 長 | 若干名 | 9. 書 記 | 若干名 |
| 5. 幹 事 長 | 1 名 | 10. 幹 事 | 若干名 |

第6条 役員の選出は次の通りとする。

1. 名譽会長は本校長を推す。
2. 会長、副会長、幹事長、副幹事長及び会計監査は役員会において正会員中より選出し総会において承認する。
3. 書記は会長が委嘱する。
4. 幹事は、卒業各期より各クラス1名を選出する。
5. 顧問は、会長が委嘱する。ただし少なくとも1名は現職員とする。

第7条 役員の任務は次のとおりとする。

1. 会長は、本会を代表し、会務を統轄し役員会を主催する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会員に事故のあるときは、その職務を代行する。
3. 会計は、本会の会計をつかさどる。
4. 幹事長は、幹事会を主掌する。
5. 副幹事長は、幹事長を補佐する。
6. 会計監査は、本会の会計を監査する。
7. 書記は、本会の庶務をつかさどる。
8. 幹事は、幹事会を構成し、また、当該クラスの会員の連絡等にあたる。

第8条 役員の任期は次のとおりとする。

1. 会長、副会長、幹事長、副幹事長及び会計監査の任期は2年間とする。ただし、再選は妨げない。

2. 全校に掲げる役員を除く他の役員の任期は特に定めない。

なお、幹事に不都合が生じた場合は速やかに後任を選出しなければならない。

第3章 機 関

第9条 本会の目的を達成するため次の機関をおく。

1. 総 会
2. 役員会
3. 幹事会
4. その他

総会は本会の最高決議機関である。

毎年、原則として年1回定期総会を開催する。

臨時総会を開催することができる。

1. 会長が必要と認めた時。

2. 幹事の三分の1以上、もしくは正会員の10分の1以上の連署による要求があつた場合。

総会において、次のことを行う。

1. 会務の報告
2. 役員改選
3. 決算報告及び予算案の審議
4. 事業計画の審議
5. その他の必要事項の審議

役員会は、総会に準ずる決議機関として開催する。

役員は次のことを行う。

1. 総会提出議案の作成
2. 事業計画の立案
3. 予算の作成
4. 役員の選出
5. その他会長から委任された事項の審議

幹事会は次のことを行う。

1. 会長から委任された事項についての審議
2. その他、必要な事項の審議
3. 会長または役員会は、必要と認める機関を設けることができる。
4. 第9条に掲げる機関における議事は、出席正会員の過半数でこれを決する。
5. 可否同数の場合は、議長の決するところによる。

第4章 会 計

幹事会は次のことを行う。

1. 会員の経費は、会費、寄付金、及びその他の収入をもってあてるものとする。
2. 会員費は正会員1名に1,000円とし、入会の時にこれを納入なければならない。

役員会が必要と認め、さらに総会がこれを承認した場合は臨時に会費を徴収することができる。

第17条 会員の会計年度は、4月1日より翌年の3月31日とする。

会計細則は別に定める。

第5章 附 則

会員の経費は、会費、寄付金、及びその他の収入をもってあてるものとする。

会員費は正会員1名に1,000円とし、入会の時にこれを納入なければならない。

役員会が必要と認め、さらに総会がこれを承認した場合は臨時に会費を徴収することができる。

第21条 会員の会計年度は、4月1日より翌年の3月31日とする。

会計細則は別に定める。

第6章 附 則

会員の会計は昭和56年8月23日より施行する。

会員費は正会員1名に1,000円とし、入会の時にこれを納入なければならない。

役員会が必要と認め、さらに総会がこれを承認した場合は臨時に会費を徴収することができる。

第25条 会員の会計年度は、4月1日より翌年の3月31日とする。

会計細則は別に定める。

2023年度 第44回同窓会定期総会・懇親会のご案内

当番幹事は31期(S58卒)・32期(H59卒)・41期(H5卒)・42期(H6卒)

51期(H15卒)・52期(H16卒)・61期(H25卒)・62期(H26卒)です

◎2023年9月23日18:00より (受付開始17:00より)

◎札幌パークホテル(中央区南10条西3丁目)

多くの同窓生が集える会にしようと、役員・幹事ともども努力しております。同窓会には当番期以外の卒業期の皆さまにもぜひ参加していただき、世代を超えた交流ができれば幸いです。皆さま是非お誘い合わせのうえご参加ください。また、二次会をそれぞれのクラス会や同期会として設定していただき案もあるらうかと思います。総会・懇親会への出席が増え、さらに楽しく盛大な会になるよう役員、当番幹事ともに頑張りますのでよろしくお願いします。



